

令和元年度 岡谷市総合教育会議 会議録

以下のとおり、会議内容について報告いたします。

-
- 会議名 令和元年度 岡谷市総合教育会議
- 日 時 令和2年2月12日（水）午前10時00分～11時20分
- 場 所 市役所 605 会議室
- 出席者 **構 成 員** 今井竜五市長、岩本博行教育長、草間吉幸教育長職務代理者、
太田博久教育委員、高木千奈美教育委員、藤森一俊教育委員、
小平陽子教育委員
- 市長補佐** 小口明則副市長
- 事 務 局** 岩垂企画政策部長、木下企画課長、味澤主幹、水澤主事
- 補助執行** 城田教育部長、三村教育担当参事、両角教育総務課長、竹内主任指導
主事、山田統括主幹、小口明彦主幹、小口康生主幹、勝野主幹
- 会議事項 1 新年度の事業について
2 その他
- 配布資料 新年度の事業についての資料
岡谷市学びの紡ぎ応援プラン
はつらつおかやスポーツプラン
岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン
-

1 開会

企画政策部長 定刻より少し早いですが、皆さんおそろいですので、これより令和元年度
岡谷市総合教育会議を開催いたします。
最初に、市長よりご挨拶を申し上げます。

2 市長あいさつ

市長 本日はお忙しい中、岡谷市総合教育会議にお集まりいただき、誠にあり
がとうございます。

また、教育長ならびに教育委員の皆様方には、日頃より、本市の教育の
向上と発展に向けて、多大なご尽力をいただいておりますことに、深く感
謝申し上げます。

私は、まちづくりの中心は「人」であり、いつの時代も、また、どのよう
な状況下にあっても変わることのない普遍的なものと捉えています。

今年度スタートしました第5次岡谷市総合計画では、未来の担い手であ
る子どもたちをはじめ「ひとづくり」への想いを込めて、教育に係わる基本
目標に「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」を掲げております。

また、本市が目指す教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策を推
進するため定めました「第2期岡谷市教育大綱」では、「自立し、共生し、
創造性溢れる『岡谷のひと』づくり」を教育の基本理念としております。

これらを踏まえまして、本日は私から、岡谷市の令和2年度に予定している事業についてご説明をさせていただきます。

本会議を通じて、教育行政に関する考え方や情報の共有化を図りながら、教育委員会と市が連携して教育政策を進めていくことが大切だと考えておりますので、皆様との活発な意見交換をお願い申しあげまして、簡単ではございますが、私からのごあいさつとさせていただきます。

本日は、よろしくお願いいたします。

3 教育長あいさつ

教育長

教育委員会を代表して、一言ご挨拶させていただきます。

市長さんをはじめ、市長部局の皆さんにおかれましては、日頃より、岡谷市の教育行政発展に向け、ご理解とご協力をいただき、感謝を申し上げます。

さて、昨今の教育を取り巻く環境につきましては、十分ご理解をいただいているところではあります。学校教育では、新年度から新学習指導要領が本格実施となり、外国語教育改革への対応や、プログラミング教育をはじめとする ICT 教育の充実など、児童生徒を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

また、健康、長寿社会の進展に伴う生涯を通じて学ぶことのできる環境づくりや、この夏開催されます、東京オリンピック、パラリンピックを契機とした、国民のスポーツ意識の高まりなど、教育の様々な分野で教育委員会の役割につきましても、新しい時代へと転換していかなければならないと感じております。

こうした中、本年度におきまして、生涯学習の推進のための「岡谷市学びの紡ぎ応援プラン」と、スポーツの推進のための「はつらつおかやスポーツプラン」の2つの個別計画を策定させていただきました。

昨年度策定しました「岡谷市魅力と活力ある学校推進プラン」と合わせ、これで教育の重点3分野の計画が整ったところであります。

教育委員会としましては、引き続き、岡谷市教育大綱の理念をめざして、これらの計画に基づき、本市の教育行政を推進してまいりたいと考えております。

本日は、市長さんより、これからの教育に寄せる思いや期待などをお聞かせいただきながら、教育委員とともに有意義な意見交換などをさせていただければと考えております。

本日は、よろしくお願いいたします。

4 会議事項 1 新年度の事業について

企画政策部長

続きまして、本日の議題に入らせていただきます。

本会議の運営規則に基づき、これ以降の議事進行につきましては小口副市長にお願いします。

副市長

副市長の小口です。それでは、次第に沿って進めさせていただきます

が、会議終了の予定時間につきましては、11時15分頃を考えておりますので、よろしくお願いいたします。

初めに、会議事項1 新年度の事業について、今井市長より説明をお願いします。

市長 <新年度の事業について説明>

副市長 ただ今の説明に対しまして、皆様からのご意見やご質問がありましたらお願いします。

草間委員 岡谷市では、学力向上の新しい施策が沢山入っているところでありますが、市長さんがおっしゃるように、人口減少、少子高齢化が想像以上に進んでいる気がしています。ある地区の方とお会いをしたら、今年の地区の子どもの誕生数は今までになく少なくて、子ども達が学校に行く頃にどうなるんだろうという不安をお聞きしました。教育委員会が想像している以上に新生児が少なくなってきたときに、保護者の満足度、子ども達が受ける教育の満足度について考えさせられたんです。将来、7小学校と4中学校を維持していく中で、教育内容を施策の中でどうやって少子化を加えていくか、市としてどのように進めていくかお聞きします。

市長 教育がやらなければいけないことは、当然教育委員会を中心に進めていただいて、その内容の充実等、努力をしていかなければいけないと思っています。少子化への対応ということになるかと思いますが、「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」では、計画期間中に小学校や、中学校の数の見直しは行わないと決めていただいていると思っていますが、やはり、少子化が進む中では、いろんなものが適正・適量ということも考えていかなければいけない時代が来るのかなと思っています。それは、小中学校だけではなくて、市が運営しております保育園やいろんな施設において検討をしていかなければいけないと思います。学校等は地域とつながりのある非常に大切な施設です。地域の皆さんとしっかりと意見交換をし、議論を重ねながら考えていかなければと思っています。もう一つ大切なのは、子どもの育ちのために行っているというポイントを外さないようにしながら、議論を深めていけたらと思っています。

もう一つ、今、話をさせていただきましたが、人口減少の下がり幅を緩めていく努力もしていかなければいけないということで、今年度の予算に妊娠、出産、教育までトータルで行う事業について力を入れていこうということで盛り込んでいます。住み続けたい、住んでみたいと思える満足度の高いまちづくりを行っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

副市長 今、市長が申しましたとおり、昨年一年間の出生数が326人ということで、400人を割った300人台が続いてますので、その辺のところに力を入れていきたいと思っています。東掘や長地では、新しい世帯が出来てきているが、今、街中でも新しい宅地造成が始まっていますので、市内の中でも出生数の増減が回っているというような気がしています。住むには大変良い

という認識は皆さんお持ちですが、その分地価が高いということがあったりしますので、若い世代を何とか応援できればということで、市を上げて行っていかなければと思っております。

市長 地価の下落は続いておりますが、周辺市町村に比べるといまだ地価が高い状況です。しかしながら、市内において、新築の建築数は多い状況にあり、岡谷に住んでもらえるということは良いということだと思っておりますので、経済的な支援を考えていきたいと思っております。

小平委員 資料を見させていただいて、今まで、子どもたちの教育のことをお聞きしてきましたが、その前の段階の、結婚から妊娠という部分も考えてくださっているということを感じました。病院も新しい施設ができていますし、保育園、幼稚園も充実していると感じています。比較的に子育てに関しては充実しているのではないかと思います。女性からすると働きながら、子育てができるような施策を行っている自治体もあるので、そういうことの可能性もあるのではないかなと感じました。

移住していただきたいということは、とても良いことだなと感じます。若い方達がどこでその情報を知って、岡谷に住みたいと思うか。どのように周知等を行っていくのですか。

市長 まさにそれがテーマであります。岡谷市は市の面積が狭く、19市の中で一番面積が小さい市であり、山もあるので居住地面積はさらに狭いわけですが、コンパクトにまとまっています。病院、買い物する場所が整っている。そういうことを考えると、住みやすいまちであると認識をしていますが、それをどう発信していくかが大きな課題であります。岡谷ブランドの発信ということで、一生懸命行っていますが、なかなかそれでも知られていないことが多いです。新年度は、力を入れながら行っていきたいと思っております。東京などのセミナーでも周知をさせていただいて、良いと思っただけの方にお試しで住んでいただく、それから、来ていただいた際の交通費を補助するため予算をとらせていただきました。働く場所があるということも非常にありがたいことでもあります。一つのキャッチフレーズとして「仕事があって楽しいがある」を掲げさせていただき、今年の9月に商業活性化計画を策定し、10月から実施をしています。生活に彩りと潤い、楽しみを与えてくれます、商業や、サービス業の皆さんに頑張ってもらったために、支援に力をいれたいと思っております。

おかげ様で、レイクウオーク等の開店がありまして、岡谷の高校生は、上伊那の高校生に「いいところに住んでいるな」と言われるそうです。せっかく良い芽が出てきているので、皆さんに協力させていただいて、楽しいまちづくりをしていきたいと思っております。

副市長 情報発信につきましては、昔からのテーマではありますが、また小平委員さんにはご協力をいただければと思っております。

太田委員

第5次岡谷市総合計画に基づいているということで、計画につきましては賛同をしていますし、市長さんも教育の方に重点を置いていただいております。また、将来都市像の中にある「たくましいまち岡谷」というフレーズには共感をしています。人口構造がこれからも変わっていくということなど、どんな暮らし方になっていくのか誰にも分らないような時代の中で、時代の変化を捉えながら、たくましく生きていくということは、ある意味、しなやかに、でも、したたかにということなのかもしれませんが、これを表現していただいているという部分について非常に共感をしているところです。

一つ一つご説明をしていただいて、どれも大切なことであると考えておりますが、その事業を取り組んでいくにあたって、予算の問題というのは非常に大きな問題であり続けるだろうと思っています。その中で、ふるさと納税について、岡谷市としての打ち出し方、活用の仕方を考えてみたらどうかと思っています。ふるさと納税については、いろんな課題があると思いますが、本来のふるさと納税の趣旨は、自分のふるさとに対して何かしたいという気持ちで支援をするのが理想だと思っています。外に出て行った仲間等と話してしましても、ふるさとと共に生きていくという考えを持った方は多いです。そのようなことも併せて考えたときに、できるのか、効果がどのくらいあるかは分かりませんが、事業に対して予算をつけ、その予算に対してふるさと納税を受けるということがあってもいいのかなと思っています。このままいくと、景品のような概念の制度になってしまい、本来の趣旨と離れた良くない方向に進んでしまうのかなと思っています。これから先のことを考えると、そんなことをご検討いただいても良いのかなと思っています。

市長

ふるさとを出て帰ってこないが、思いがある人達のことを関係人口という言葉で表現をしています。国のほうでもこの関係人口を増やしなさいといっています。関係人口、交流人口の増を移住、定住に繋げていくという順番になります。関係人口は、岡谷のことを考えてくださっている、非常に大切な財産、人材ですので、大切にしていかなければと思っています。

また、目的を持ったふるさと納税につきましては、可能でありますので、また研究をしていきたいと思っています。また、事業の発信についてもまた大きな課題であります。口コミ等も発信方法の一つだと思っておりますが、またお知恵をお借りしながら、歳入の確保について研究、実施をしてみたいと考えております。

藤森委員

さきほど少し話しに出ました、ふるさと納税の返礼品に「精密コマ」が採用されており、おかげ様で、応援の声等もいただいております。事業を経営するものとして、ヒントになったりもしています。当たり前のことも外から見ると素晴らしいこともあると思います。なかなか視点を変えるとというのは、難しいと思うので、改めていろんな角度から見ることで、まちの良さ、強みが見えたりしてくるのではないかと感じました。

生涯学習というものが少子高齢化の中で重要なのではないかと思います。働き手が少なくなってくる中で、企業としても良い人材を育てなければいけないが、働く現役世代が、生涯学習を通して社会人として良い人材になり、産業が活性化していくような事業が良いのではと思います。

市長

生涯学習というものも大切だと思っています。いろんな場面が生涯学習だと思っておりまして、勤青ホームでもいろんな団体に頑張ってもらっています。そういったところでいろんな知識やスキルを身に付けていただきまして、地域で活かすという部分で力を発揮していただきますと、岡谷のまちが豊かになってくるのかなという思いがしておりますので、企業でもそういったところに参加をしていただけるようなアピールをしていただけると嬉しいと思います。

生涯学習も課題を抱えておりまして、高齢化、団体の減少などがありますので、若い方が入っていただけると幸いです。応援をしながら、生涯学習も大切にしていきたいと思っております。

高木委員

結婚から教育まで切れ目の無く支援をしていただいているということを感じて、大変ありがたいと感じました。「仕事があって楽しい、働く場所があるまち岡谷」というように、長い歴史の中で共働き家庭というのが当たり前前にできているまちですので、働きやすいまちだなと感じています。交流人口というものが大切だなと感じていまして、定住に結びつくのは難しいことかもしれませんが、岡谷のまちへ人を呼び込むということが活性化において大切だと思いますので、生涯学習という観点から考えましても、「人が人を結ぶ」という流れができるように、いつでも開かれたまちであって欲しいと思います。岡谷市民だけに限らず、広い地域で考えて、人を呼び込んで欲しいと思います。

市長

ありがとうございます。子どものくになにつきまして、年間約3万5千人の方に利用をしていただいておりますが、市内の親子連れに限定はしておりません。他市町村からも来ていただいている。そういったことで交流人口を増やしていくことが大事です。絹工房でもシルクの関係で定期的に勉強を行い訪れている方もいます。呼び込む力を持ち続けることが大切だと思っています。また、いろんな知恵をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

藤森委員

スポーツに関連してですが、来年度、プールに関連して予算付けをいただけるということでありがとうございます。県内で、25mプールは少なくなってきたので、貴重な存在であります。よろしく願いいたします。

草間委員

やるスポーツから、する、見る、支えるという大きい意味で全員が参加できるスポーツの体制になってきています。岡谷独自のエースドッジボールなどの競技人口が減ってきたという状況の中で、盛り上げてなんとかフォローしたいという思いもありますが、子ども達が減って来ているなかでなんとかなくならないようにしていきたいと思っております。市としてどのようにお考えでしょうか。

市長 児童生徒数が減ってきている一方で、スポーツの競技数は増えてきているため、一つ一つの競技人口が減ってしまうという課題もあります。なかなか難しいと思っています。エースドッジボール協会の方達と意見交換をさせてもらえればと思っています。一つの例として、皆さんの知恵を出していただいて、スケートでは、4 中学校合同のスケート部として活動していただいております。そういった形がいろんなスポーツで必要になってくるのかなと思っています。先ほども少しお話をさせていただきましたが、来年度は部活動指導員を増員させていただくということで、外部の方の力をお借りしてしっかりとした指導をしていただくことが必要だと思っております。

小平委員 高校生まちづくり推進事業ということで、小中学校以外の取組ということであまり存じ上げなかったのですが、とても良いなと感じています。こういった経緯で始まったのでしょうか。仕事を作っていくということは、学校の中では学べないことでもあるので、良いことだと思っています。

企画政策部長 第5次岡谷市総合計画を策定する中で、高校生にもアンケートをさせていただき、「将来岡谷に戻ってきたいですか」という問いにたいしての回答が低かったという結果がありました。高校と相談をする中で、計画の策定時単発ではなくて、継続的にまちづくりに関わるような形にしたほうがいいのではないかという議論の中で、3高校の生徒、約15名に集まっていたいただき、市側からの提案ではなく、高校生たちが主体的に何をしたいかを考え、ご当地ラーメンの作成やイルミネーションの装飾を行いました。また、福井県の鯖江市で開催されました全国高校生まちづくりサミットに参加し、まちづくりにしての思いを強くしていただいているので、また引続き継続してまちづくりに関わっていただくという中で、関心を高めていただければと思っています。

市長 まちづくりに興味を持ってもらい、Uターンもしくは定着をしてもらおうとも考えています。何年か前に中学生とまちづくりに関して討論会をさせていただいたこともあります。若い小・中・高生からは率直な良い意見、面白い意見を出していただけるので、私達にとっても刺激になります。

副市長 そろそろ終了の予定時刻が近づいておりますので、次に進ませていただきます。

5 会議事項2 その他

副市長 その他について委員さん方から何かありましたらお願いいたします。

各委員 特になし。

6 閉会

副市長 それでは、最後に会議のまとめということで教育長からまとめをいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

教育長 本日は、市長さんから教育に対する熱い想いや期待等をお聞きすることができました。

私は来年度の予算のことも考えまして、市長さんから米百俵をいただいた思いであります。いかにその米百俵を未来を担う子ども達や、みなさんが輝くように使っていくかは、教育委員会の大きな仕事、責任ではないかなと思っております。一俵一俵を大事にしながら頑張っていきたいと思っております。

教育委員からもいろんな意見を出ささせていただきましたけれども、皆様から丁寧な回答やお考えをお聞きすることができまして、中身の濃い、充実した総合教育会議ができたのではないかと思います。

私達自身が心を紡いで、そして、一緒になって子ども達や市民のためにこれからも頑張っていきたいと改めて思ったところです。本日は、本当にありがとうございました。

副市長 どうもありがとうございました。以上をもちまして、本日の議題は終了いたしました。事務局に進行をお返しいたします。

企画政策部長 真剣なご議論、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和元年度岡谷市総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。